

# TPPに関する安倍総理の発言

## ○ 2013年2月の日米首脳会談後の記者会見

オバマ大統領との間で**日本には一定の農産品、米国には一定の工業製品**といった、**二国間貿易上のセンシティブティ**が両国にあることを明示的に確認いたしました。

## ○ 同年3月のTPP交渉参加表明の記者会見

私たちは**国民との約束は必ず守ります**。そのため、先般オバマ大統領と直接会談し、TPPは**聖域なき関税撤廃を前提としないことを確認**いたしました。**そのほかの五つの判断基準**についても交渉の中で**しっかり守っていく決意**です。

交渉力を駆使し、我が国として**守るべきものは守り、攻めるものは攻めていきます**。国益にかなう**最善の道**を追求してまいります。

**最も大切な国益**とは何か。日本には**世界に誇るべき国柄**があります。息を飲むほど**美しい田園風景**。日本には、朝早く起きて、汗を流して田畑を耕し、水を分かち合いながら五穀豊穡を祈る**伝統**があります。自助自立を基本としながら、不幸にして誰かが病に倒れば村の人たちがみんな**助け合う農村文化**。その中から生まれた世界に誇る国民皆保険制度を基礎とした**社会保障制度**。これらの**国柄を私は断固として守ります**。

## ○ 同年3月の自民党党大会での演説

**必ず私は日本の農業を、食を守ってまいります**。どうか私を信頼していただきたい。信じていただきたいと思ひます。

私は**強欲を原動力とする市場主義経済の道をとってはならない**と思ひます。日本は瑞穂の国です。**道義を重んじ、真の豊かさを知る市場主義経済**を目指してまいります。そのことをお誓い申し上げる次第です。

## ○ 同年12月の民放出演時の発言

**米国に迎合したり膝を屈するということはない**です。相当厳しい交渉を行っています。先般も、甘利大臣あるいは西村副大臣も、はっきりと日本の立場を主張したわけでありまして、その結果、我々はこれ以上は絶対に引くことはできないという話もしています。**我々は、5品目については基本的に守っていくということ**を、**ファイルに書いています**から。そしてまた農水委員会の決議もあります。それを踏まえて、日本の**国益、国柄を守るという決意**で**しっかりと交渉**をしているということです。**その交渉姿勢は今後も変わりません**。

## ○ 2014年2月の衆議院予算委員会での答弁

早期に妥結することは我が国の国益ではありますが、あらかじめ期限を切る、これは、交渉においてみずからの手を縛り、そして逆に足元を見られる危険性があります。**例えば、いつまでかということ**で期限を切ることは**すべきではない**。

私たちが選挙において公約したこと、この約束は決してたがえることはないということをはっきりと申し上げておきたいと思ひます。農産品5品目については、我々、しっかりと国民の皆様にも決意についてお示しをしているわけでございます。**衆参の委員会における決議を踏まえて、国益にかなう最善の道**を目指してまいります。